



# 支援プログラム

営業時間 9時30分から18時30分

送迎の実施: あり

## 本人支援 言語・コミュニケーション

- 具体的な事物や名称、感情を実際の心動く体験や他者との信頼関係、関わりを通して言葉にしたり表現していくことを支援する
- 本人の表情や指差し、仕草、サイン等から意思をくみ取り意思の伝達をすることを支援する
- サントレを通じて言葉の使い方を知ったり、感情が育つよう支援する

## 本人支援 運動・感覚

- 日常生活に必要な動作の基本となる筋力の維持・強化や移動の能力の向上を図る
- 五感を十分に活用できるような遊びの工夫を行う
- 感覚や認知の特性を考慮し、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う
- リズム運動を通して体幹を強くしたり体の動かし方が身につくよう支援する

## 本人支援 人間関係・社会性

- 信頼関係をつくり大人との関係の幅をさらに広げていくことを支援する
- 大人との信頼関係を基盤にして他の子への興味を育み、お互い心地良い関わり方を知っていくことを支援する
- 公共施設での過ごし方やマナーを知ることが出来ることを支援する

## 本人支援 健康・生活

- 健康な心と体を育て自らを大切に安全な生活を作り出すことを支援する
- 基本的な生活習慣におけるスキルを獲得することを支援する
- 行動・気持ちの切り替えをしながら生活を送ることを支援する

## 地域支援・地域連携

- 関係機関と連携し、地域の中で安心・安全に過ごすことを支援する
- 戸外活動を通して、地域の方と挨拶等で交流ができるように支援する

## 家族支援

- 家族が安心して日々の生活を送れるよう日常的にコミュニケーションの機会をつくり支援する
- 子どもの理解を共有し家族が楽しく関わることを支援する

## 本人支援 認知・行動

- 遊びや活動を通して数や形、大きさ、重さ、色、対比や質量等、学習の土台作りの支援を行う
- 感覚や認知のバランス、コミュニケーションの困難を考慮し、望ましい行動への対応支援を行う

## 法人(事業所)理念

- ① 人々の役に立つ(社会的に価値のある事業である)
- ② 笑顔と感動を届ける(家庭、社会を笑顔にし、感動を届ける事業である)
- ③ 共に成長する(存在価値を持ち、公私共に成長する)
- ④ 成果を分かち合う(価値を生み出し、その成果は社員と社会に還元する)

## 支援方針

- ① 一人ひとりに寄り添い、丁寧で肯定的な療育を行う
- ②常に子どもの安全を第一に考え、主体的な活動が行えるように環境を整える
- ③子ども中心のチームワークを大切にし、子どもの成長を保護者と分かち合う

## 職員の質の向上

- 日々の伝え合いを大切にし、研修・学習会等に参加して職員のスキルアップに努める

## 移行支援

- 卒業後やその他移行先にスムーズに移行できるよう関係機関と連携を図り調整を行う

## 主な行事

社会体験(図書館・フレミラ大児童館・阪神競馬場公園に出かける等)、クリスマス・ハロウィン・七夕等季節の行事に関する制作、節分豆まき、水遊び、

